

# 取扱説明書

## ミニ耕うん機

### HG-TKW520A

混合燃料  
25 : 1



|        |                    |   |
|--------|--------------------|---|
| ご使用の前に | はじめに・安全にお使いいただくために | 2 |
|        | 安全ラベル              | 5 |
|        | 各部の名称・主要諸元         | 6 |
|        | 付属品                | 7 |
| 組立て    | 8                  |   |

|     |          |    |
|-----|----------|----|
| 使い方 | 運転前の点検   | 10 |
|     | 運転操作の仕方  | 12 |
|     | 耕うん作業の仕方 | 14 |

|       |              |    |
|-------|--------------|----|
| 点検の仕方 | 点検整備の仕方      | 16 |
|       | エンジンが吹き上がらない | 18 |
|       | 長期間使用しないとき   | 19 |
|       | 故障と思ったら      | 20 |
|       | お客様ご相談窓口     | 23 |

# はじめに

このたびは耕うん機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## 安全上のご注意

- ※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。
- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



### 警告

誤った取扱をしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



### 注意

誤った取扱をしたときに、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



### 禁止

取扱においてその行為を禁止します。



### 指示

指示に基づく行為を強制します。

## 製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。  
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

## 安全にお使いいただくために

### 耕うん機に係る安全事項



### 警告



### 禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- ・回転部分のカバーを取り外して運転しないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますのでご注意ください。
- ・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- ・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- ・操作の仕方をよく分からない成年者でも独自の使用はご遠慮ください。






### 指示




- ・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上ご使用ください。
- ・運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。
- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- ・始動前点検を実施してください。
- ・製品を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人で行ってください。



# 安全にお使いいただくために

## 耕うん機の安全に係る事項

|  <b>注意</b>    |  |
|--|--|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・指定された用途以外には使用しないでください。</li></ul>  |
| <br><b>指示</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。</li><li>・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。</li><li>・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。</li><li>・部品交換は、純正部品を使用してください。</li><li>・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。</li><li>・定期点検整備を行ってください。</li><li>・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。</li></ul> |

## 耕うん機の作業に係る事項

|  <b>注意</b>     |  |
|--|--|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。</li><li>・装置をご使用になる前に、エンジンの始動、停止のしかたを覚えてください。</li></ul>   |
| <br><b>指示</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・この説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。</li><li>・定期点検整備を行ってください。</li><li>・可動部分の位置および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。</li><li>・燃料は無鉛ガソリンを使ってください。</li></ul> |

|  <b>警告</b>    |   |
|--|---|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。</li><li>・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。</li><li>・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。</li><li>・屋内で使用しないでください。</li><li>・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li><li>・急傾斜地では使用しないでください。</li><li>・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。</li><li>・室内や換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。</li><li>・土や砂利道の上でローターを回転させないでください。</li><li>・作業する場所の異物はあらかじめ取除いておいてください。</li><li>・回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服などを近づけないでください。</li><li>・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。</li><li>・使用中は、点火プラグキャップ部や高圧コードに触れないでください。</li><li>・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。</li><li>・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。</li><li>・エンジン回転中は、高さ調節をしないでください。</li><li>・エンジンが熱いうちは、可燃物を近づけないでください。</li><li>・回転部分のカバーを外して運転しないでください。</li></ul> |

# 安全にお使いいただくために

## 耕うん機の作業に係る安全事項

### 警告

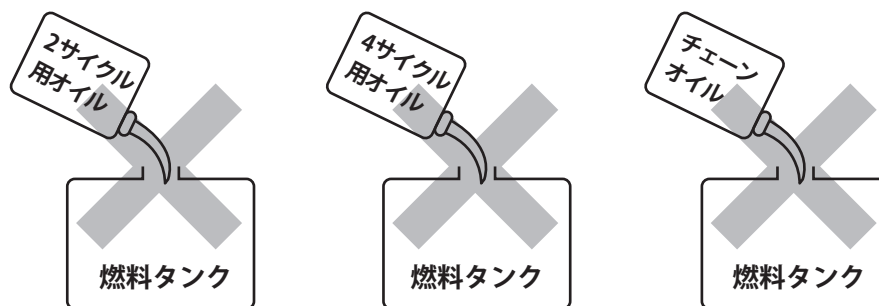


#### 指示

- 使用前にローターに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 各部のネジに緩みがないことを点検してください。
- 始動前点検を実施してください。始動前点検で異常が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 使用前に部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽、耳栓などの作業に適した服装を心掛けてください。
- 使用者は、使用者自身や周囲の人、動物に対する危険事項を理解し、十分注意してください。
- 運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業してください。走るような操作はしないでください。
- 坂道の走行には注意してください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、耕うん機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ再始動しないでください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

### 注意

- 弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- 燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れないでください。
- 燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れないでください。



# 安全ラベル



|  |  |
|--|--|
|  | <b>注意</b><br><b>マフラー高温注意</b><br>マフラーにさわるとやけどをするおそれがあります。 |
|--|--|

|  |   |
|--|---|
|  | <b>警告</b><br><b>排ガスに注意</b><br>室内や換気の悪い場所での運転は、ガス中毒の危険があります。 |
|--|---|

|  |   |
|--|---|
|  | <b>注意</b><br><b>プラグ高圧注意</b><br>感電のおそれあり。運転中は、点火プラグや高圧コードに触れないでください。 |
|--|---|

|  |  |
|--|--|
|  | <b>危険</b><br><b>火気厳禁</b><br>・給油時はエンジン停止。<br>・火災の危険あり。<br>給油口に火を近づけないでください。 |
|--|--|



- ・ご使用前に必ず取扱説明書をよく読んで安全にお使いください。
- ・動作中に刃や回転部分に顔や手足を近づけないでください。

|  |   |
|--|---|
|  | <b>危険</b><br><b>切断の危険</b><br>回転部に絶対さわらないこと。けがをするおそれがあります。 |
|--|---|

## 各部の名称



## 主要諸元

|         |            |
|---------|------------|
| モデル名    | HG-TKW520A |
| 型式      | 2サイクルエンジン  |
| 排気量     | 52cc       |
| 燃料      | 混合燃料 25:1  |
| 燃料タンク容量 | 1200ml     |
| 耕作幅     | 260mm      |
| 耕作深さ    | 150mm      |
| 本体重量    | 14.4kg     |

# 付属品

## ●梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、すべてが完全であることを確認してください。
  2. 装置を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。
  3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。



警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を交換するまで使用しないでください。

|  |  |   |
|--|--|---|
| <p>A. 本体</p>           | <p>B. 中部ハンドル</p>  | <p>C. 左ハンドル</p>    |
| <p>F. ハンドル用取付ボルト</p>  | <p>D. 車輪</p>     | <p>E. ノブナット</p>   |
| <p>G. 車輪固定ボルト</p>     | <p>I. 工具</p>    | <p>J. 混合タンク</p>  |
| <p>H. 抵抗棒</p>        |  |   |

# 組立て

## ⚠ 注意

- ・組立を行うときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。
- ・組立には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

## ●車輪の取付け

本体に車輪を取付けます。

組立手順

- 1 本体取付けガイドの取付穴と車輪の取付穴を合わせ、車輪固定ボルトを通し、ナットを仮止めします。



- 2 本体取付ガイドにある取付ピンとピンロックを一旦外します。



- 3 本体側のステイに抵抗棒を差込み、取付ピンを差込み、反対側をピンロックで固定します。



最も深く耕うんするときの位置

- 4 車輪固定ボルト・ナットを締付けます。



# 組立て

## ●ハンドルの組立て

中部ハンドル、上部ハンドルを取付けます。

組立手順

- 1** 中部ハンドルを下部ハンドルに差込み、取付穴を合わせます。



- 2** 中部ハンドル取付ボルトを内側から外側に通し、外側からノブナットを締めてしっかり固定します。



- 3** 中部ハンドルと上部ハンドルの取付穴を合わせます。



- 4** 上部ハンドル取付ボルトを内側から外側に通し、外側からノブナットを締めてしっかり固定します。



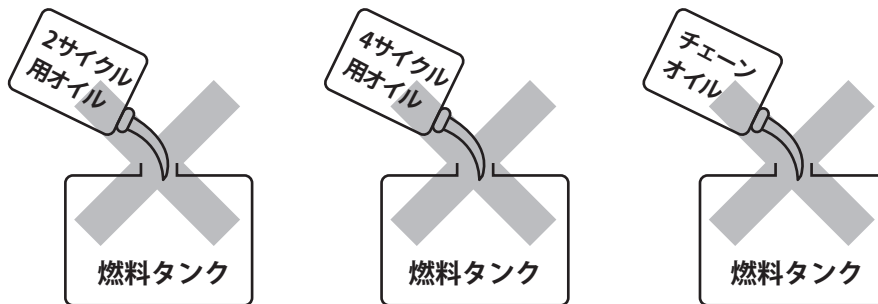
# 運転前の点検

## 警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

## 注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。



## ●混合燃料 25:1 の作り方

25:1以外の混合燃料は、絶対にご使用にならないでください。故障の原因になります。

- 1** ガソリン、オイル、混合タンク(付属)を準備します。
  - ・無鉛レギュラーガソリン
  - ・2サイクル用オイル JASO FC
  - ・混合タンク(付属)
- 2** 混合比25:1 600mlの作り方例  
無鉛レギュラーガソリン576.92mlに対し2サイクル用オイル 23.08ml
- 3** 混合タンクに無鉛レギュラーガソリンを規定量①(576.92ml)まで入れます。

- 4** 2サイクル用オイルを②(23.08ml)まで続けて入れます。



- 5** 混合タンクのキャップをしっかりと締め、混合タンクを振り、カクハンします。

# 運転前の点検

## ⚠ 注意

- ・ 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・ 燃料タンクに、2サイクル用オイルだけを入れしないでください。
- ・ 燃料タンクに4サイクル用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。

### ●燃料の点検・補充

|      |              |
|------|--------------|
| 使用燃料 | 混合ガソリン(25:1) |
|------|--------------|

燃料（混合ガソリン）の量を点検します。

#### ■点検手順

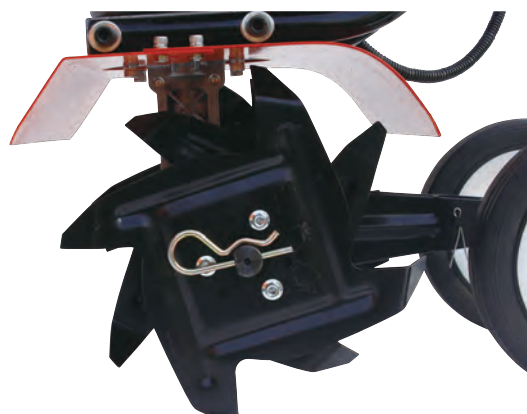
- 1 混合ガソリン (25:1) を準備します。
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 混合ガソリン(25:1)を少しずつこぼさないように給油します。
- 4 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

### ●ローターの点検・交換

ローターの状態を点検し、曲がり、あたりなどの不具合がある場合は、新しいローターに交換します。



# 運転操作の仕方

## 警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- ・運転中は必ず両手でしっかりハンドルを握ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・装置から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

## 注意

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

## ●エンジンのかけ方

- 1 エンジンスイッチをONにします。



- 2 プライマリーポンプを繰り返押しします。リターンパイプに燃料が流れることを確認します。



リターンパイプ

プライマリーポンプ

- 3 寒いときやエンジンが冷えているときは、チョークレバーを「OFF」方向に動かします。暑い日やエンジンが暖まっているときは、「ON」の位置に合わせます。



- 4 リコイルスターターをエンジンがかかるまで、数回引きます。



## 運転操作の仕方

---

- 5** エンジンが始動後、アクセルトリガを少し引き  
ます。



- 6** 暖気運転後は、チョークレバーを「ON」に  
します。

- 7** アクセルトリガを引くとエンジンの回転が速く  
なり、機械が動き出します。

### ●エンジンの止め方



- 1** アクセルトリガより手を離し低速運転にし  
ます。

- 2** エンジンスイッチを OFF にします。



# 耕うん作業の仕方

## 警告

|  |  |
|--|--|
| <br><b>禁止</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。</li> <li>・動作中に刈刃や回転部分に顔や手足を近づけないでください。</li> <li>・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。</li> <li>・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。</li> <li>・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、ローターに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。</li> <li>・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li> </ul> |
| <br><b>指示</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に休憩をとってください。</li> <li>・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。</li> <li>・装置から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。</li> <li>・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。</li> <li>・少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。</li> <li>・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。</li> <li>・急傾斜地では使用しないでください。</li> </ul>  |

## ●耕うんの深さを調整

耕うんの深さ調節は、抵抗棒の高さ、車輪の位置で行います。

### 【抵抗棒の高さ調節】

抵抗棒をもっとも低い位置にすると、土の抵抗が大きくなり、前進を抑えます。

### ■調整方法

- 1** 本体取付ガイドにある取付ピンを外します。
- 2** 抵抗棒のとがった先端が下になるように取付ガイドに沿って、差込みます。
- 3** 希望の深さに合わせ、取付ピンを差込み、ピンロックを差して固定します。



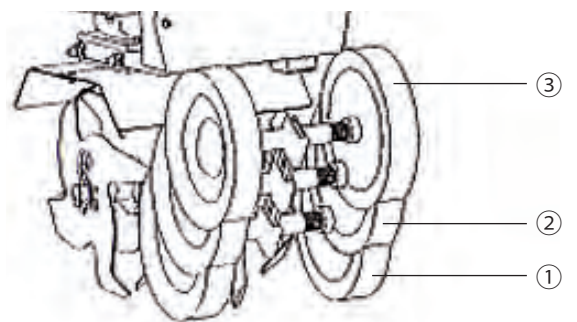
最も深く耕うんするときの位置

### 【車輪の高さの調整】

車輪は、3段階の高さに調整できます。

最も低い車輪の高さ①は平らな地面を移動するときを使用します。このとき、エンジンは必ず停止してください。

②③は耕うんする際に使用します。

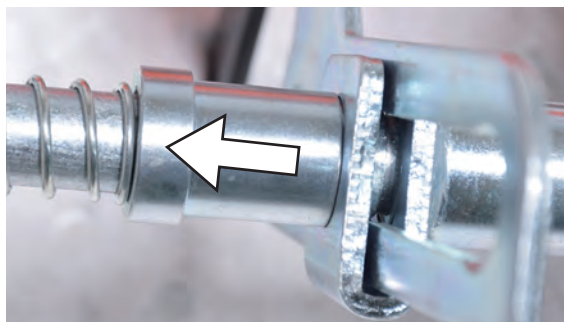


### ■調整方法

- 1** ホイールロックをしっかり持って車輪側に動かします。



# 耕うん作業の仕方



- 2** ロックが外れた状態で、車輪の位置を変更します。



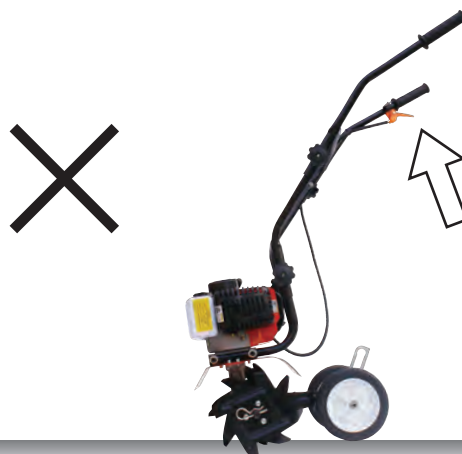
- 3** 3段階のいずれかの位置に合わせて、ロックをかけます。



- 4** ロックがかかり、車輪の高さが動かないことを確認します。

## ●上手な耕うんの仕方

耕うんの深さは最大で150mmです。耕うん機をローター側に傾けても深く掘れないばかりか、ギヤに負荷をかけてしまい破損させてしまいますので行わないでください。



最も低い車輪の高さ①にして、ハンドルを上を持ち上げて耕うんの深さをより深くすることは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。



車輪の高さを①か②にして、ハンドルを上を持ち上げずに少し押し下げ気味で耕うんを行うと、スムーズに耕せます。

# 点検整備の仕方

## 警告

- ・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取り付けたことを確認してください。

## 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

## ●エアクリナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどいときはよく洗います。

### ■点検手順

- 1 エアクリナーカバーのシールをはがし、取付ボルトを緩め、カバーを取外します。



- 2 エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。



- 3 取外しと反対の手順で取付けます。

## ●点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

### ■点検手順

- 1 プラグレンチで、点火プラグを取外します。





# 点検整備の仕方



- 2** 電極の周辺にオイルや堆積物が付着している場合は、清掃します。



隙間は  
0.7mm~0.8mmが  
適切です。



|         |            |
|---------|------------|
| 適応点火プラグ | BPM7A(NGK) |
|---------|------------|

- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。

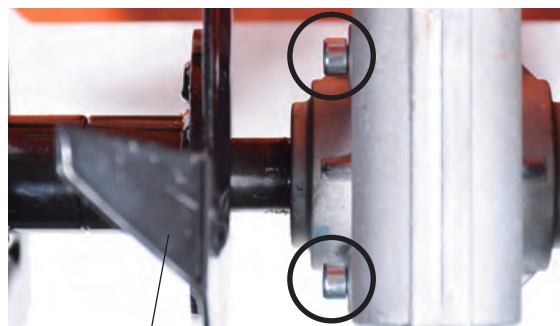
## ●ローター、ギヤケースの点検整備

ローターのひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常があるときは新品と交換してください。

ギヤケースは、50時間毎にグリスの補充を行います。

### ■点検手順

- 1** リチウム系グリスを準備してください。
- 2** ローターを外します。
- 3** グリスボルトを外し、リチウム系グリスを注入します。



ローターを外す

## ●ボルトの緩み

- 1** すべてのネジ、ナットとボルトを締めなおしてください。

# エンジンが吹き上がらない

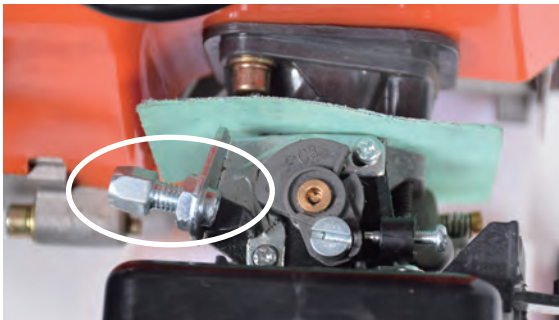
## ●エンジンが吹き上がらない場合

エンジンが吹き上がらないときは、アクセルワイヤーの外れが原因の場合があります。その場合は、下記要領で取付けてください。

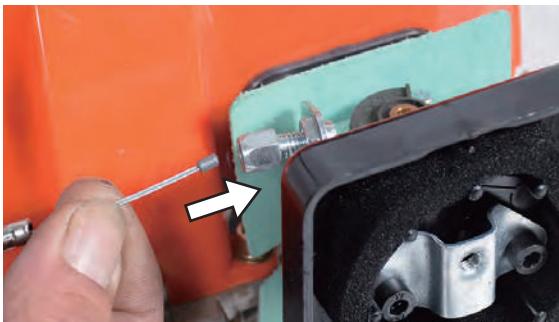
- 1 エアフィルタのカバーを、付属の六角レンチで外します。



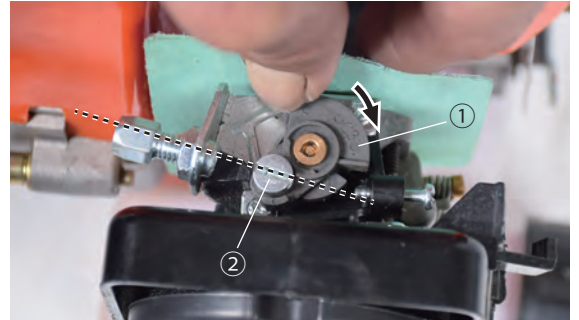
- 2 写真の丸部分にアクセルワイヤーを通す所があります。



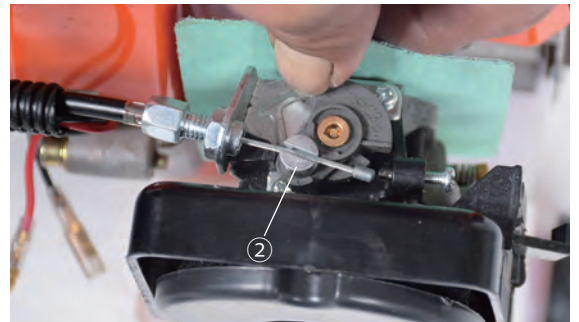
- 3 アクセルワイヤーを通します。



- 4 ①を時計回りに回転させます。その際、②の溝を点線の位置に合わせます。



- 5 その状態でアクセルワイヤーを②の溝にはめ込みます。



- 6 矢印の方向にアクセルワイヤーを引っ張ることで固定されます。



- 7 指を放し、確実にアクセルワイヤーが固定されていることを確認します。

# 長期間使用しないとき

## 警告

- ・安全を確保し作業を行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

## 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

## ●装置を1週間以上使用しないとき

- 1** 保管するときは、平坦で堅い地面に水平に置いてください。
- 2** 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 3** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。
- 4** エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 5** 点火プラグを外し、適量（2～3滴）の2サイクルオイルをシリンダ内に入れてください。リコイルスターターを2～3回引いた後、ピストンが一番頂点になるところで止めます。
- 6** 点火プラグを取付けます。
- 7** 点火プラグキャップは取付けしないで、エアフィルタカバーを取付けます。
- 8** チョークを閉じます。
- 9** ローター、泥よけを清掃します。

- 10** 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 11** 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

# 故障と思ったら

## ●エンジンがかからない

| 症状                             | 原因                      | 対処           |
|--------------------------------|-------------------------|--------------|
| 点火プラグに火花が出ていない                 | ①始動スイッチボタンの不良           | 交換           |
|                                | ②スパーク・プラグ不良             | 交換 (P.21 参照) |
|                                | ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良      | 調整 (P.21 参照) |
|                                | ④イグニッションコイルの不良          | 交換           |
| キャブレターに燃料が来ていない                | ①燃料がはいっていない             | 燃料を入れる       |
|                                | ②燃料ホースの詰まり、漏れ           | ホース清掃、交換     |
|                                | ③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり  | 交換、フィルタ清掃    |
| キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない | ①キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着) | キャブレター分解掃除   |

## ●エンジンはかかるが、回転があがらない

|  |              |                   |
|--|--------------|-------------------|
|  | ①エアフィルタの汚れ   | 清掃又は交換            |
|  | ②キャブレターの調整不良 | 調整                |
|  | ③アクセルワイヤーの外れ | ワイヤーの取付 (P.18 参照) |

## ●アクセルを離してもローターが回る

|                 |             |    |
|-----------------|-------------|----|
| アンドリングの回転数が高すぎる | キャブレターの調整不良 | 調整 |
|-----------------|-------------|----|

# 故障と思ったら

**点火プラグの点検** ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

**先端が濡れている**

**先端は濡れていない**

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



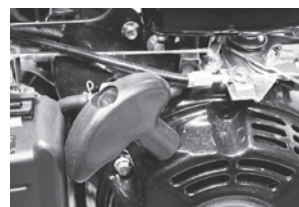
③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチを入れます。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



**火花が出る**

**火花が出ない**

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますので安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

## 1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

## 2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

## 3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
  - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
  - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
  - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

## 4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

## 5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。  
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。  
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

## 6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
  2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
  3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
  4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
  5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

# お客様ご相談窓口

## 故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

### ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

## 故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

### お客様



①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。  
②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。



⑤お見積り提示。  
⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

### ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

## 故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。  
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。  
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。  
**遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。**

### お客様



①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理<sup>\*1</sup>か、引取り修理<sup>\*2</sup>か、出張修理<sup>\*3</sup>かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。  
※ご希望に応じて相談させていただきます。

### 販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

<sup>\*1</sup> お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。

<sup>\*2</sup> 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。

<sup>\*3</sup> 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

### ■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

### ■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

### ■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく到着日から1週間とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

### ■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

## 修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

## 修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先  
ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>  
ハイガー産業お問い合わせ  検索

TEL:0276-55-2275 FAX:0276-55-2276

# 販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

オフィシャルサイト▶<http://www.haige.jp/agency.html>

本店サイト▶<http://www.haigeshop.net/new/2015-07-02-113023.html>

楽天サイト▶<http://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/after.html>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。  
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。  
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

## ハイガー産業 株式会社

〒370-0503 群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3

<http://www.haigeshop.net/>

本取扱説明書を熟読しても、弊社のサイトや動画等を見ても、問題が解決しない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。その際、迅速なご対応ができるよう「お問い合わせ件名」を必ずお伝えください。  
件名：「初期不良」「1年保証内故障」「1年保証外故障」「使用方法」「その他」

### お問い合わせ

ホームページお問い合わせフォーム:<http://www.haigeshop.net/contact>

TEL. 0276-55-2275 FAX. 0276-55-2276

※平日12:00～13:00はお電話は繋がりません。

※スタッフ一同、迅速・丁寧な対応を心がけておりますが、季節商品等お問い合わせが集中する時期は、電話が繋がりにくくなったり、折り返し対応や折り返しのご連絡が遅くなる場合がございます。誠に恐れ入りますが、順次対応いたしますのでお待ちいただけますようお願い申し上げます。

お急ぎのご用件でなければ、ホームページお問い合わせフォームよりご連絡をいただけますと幸いです。

FAXは24時間受付ておりますが、営業時間外や弊社休業日にいただいたお問い合わせに関しましては、翌営業日以降に順次対応させていただきます。ご了承ください。

◎営業時間：10:00～17:00(第1・3・5土曜日は12:00まで) ◎定休日：日曜、祝日、第2・4土曜日

